

平成30年7月豪雨から5年 ～ふりかえり、備えよう～

大きな被害を残した、平成30年7月豪雨から間もなく5年がたちます。
 当時を振り返ってみると、何かしらの「困ったこと」が思い浮かびませんか。
 では、それに対して、どのような対策が取れますか？

同じくらいの雨がまた降るかもしれません。
 いや、もっと多くの雨が降らないとも限りません。

“自分の身は自分で守る”

改めてこのことを頭に入れて、当時を振り返り、そして次に備えるために
 行動しましょう。

国道2号線尾道バイパス福地インター付近上空より撮影



●取水施設の対策

沼田川の本郷取水場（三原市）からは、周辺の4市1町に水道用水が供給されています。

施設の外周の防水壁などは以前より設置されていましたが、それを越える川の増水があり、機器の水没により送水が停止、広範囲で断水しました。

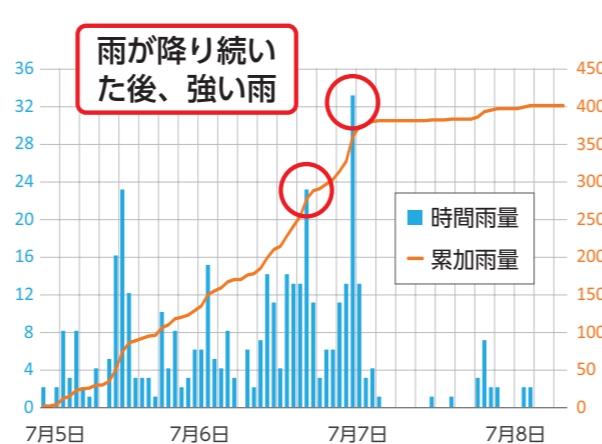
この被害をうけ、現在では、各種対策が強化されています。

- 外周壁のかさ上げ（既存の外壁の上に、擁壁を設置してかさ上げ）
- 電気設備の上層移設（電気室を上階へ移設・発電設備を架台上へ移設）
- ポンプ棟の水密化（窓をふさが・シャッターを防水扉に変更）等



水密化されたポンプ棟

時間雨量と累加雨量（有井観測所：向島町）



●雨の降り方に注意

土砂崩れ等のメカニズムは解明されていないことも多いですが、一般的に地中に含む水量などが影響するものと考えられています。

平成30年7月豪雨では、弱い雨が降り続き地中の水量が増えていたところで、強い雨が降ったことで限界を超え、土砂崩れの発生に至った可能性があります。

弱い雨でも長く降り続けているときは、その後の雨の降り方に特に注意が必要です。

●当時の出来事

累加雨量〈最大〉411mm（御調観測所）

気象情報	●…注意報	■…警報	■…特別警報
避難情報（H30年当時）	■…避難準備・高齢者等避難開始	■…避難勧告	■…避難指示（緊急）

気象情報		避難情報			
大	洪	御調町	藤井川	流域	左記以外
雨	水	洪水	土砂	洪水	土砂
		土砂		土砂	土砂
7月 5日 8時					
7月 5日 8時 8分					
7月 5日 12時38分					
7月 5日 19時50分					
7月 5日 20時50分					
7月 5日 20時50分					
7月 5日					
7月 6日 2時					
7月 6日 10時 6分					
7月 6日 16時50分					
7月 6日 18時25分					
7月 6日 18時40分					
7月 6日 18時40分					
7月 6日 19時					
7月 6日 21時37分					
7月 6日 21時40分					
7月 7日 3時					
7月 7日 早朝					
7月 7日 7時					
7月 7日 午前					
7月 7日 12時					
7月 7日 10時50分					
7月 7日					
7月 8日 2時					
7月 8日 12時					
7月 8日 14時45分					
7月 8日 14時45分					
7月 8日 20時30分					
7月 9日 4時23分					
7月 9日 10時 6分					
7月 9日 10時30分					
7月10日					
7月21日					
7月22日					
7月27日					
8月 8日					
8月10日					

●被害の状況について

人的被害	死亡	3人（左記以外に市外での被災者1人）
（災害関連死を含む）	負傷	8人（重傷2人、軽傷6人）

住家被害 651件（全壊・半壊・浸水など）

その他の災害通報	道路	1,260件
	農地	213件
	ため池	32件
	越水・冠水	135件
	河川	283件
	水路	274件
	土砂崩れ	475件

●避難情報の変更

令和3年5月に避難情報が見直されました。
 ※このため本文中にある「避難準備」や「避難勧告」は現在使われていません。

